

埼玉県親善大使 レポート

今池雄大

アメリカ合衆国カリフォルニア州
カリフォルニア大学デービス校

留学先デービスについて

私はカリフォルニア州のデービスにあるカリフォルニア大学デービス校(UC Davis)に留学しました。デービスは、サンフランシスコから車で1時間半、州都(日本でいう県庁所在地)であるサクラメントから30分の位置にある学園都市です。学生が多く住む町で非常に治安が良く、夜でも1人で出歩いてしまうような街で日本の都市部よりも治安が良いように感じます。埼玉県と同じく晴れの日が多いですが、気温差は朝晩と昼とでは20度ほどあります。個人的には夕焼けがとても綺麗な街だと思っています。

留学先の大学であるUC Davisはカリフォルニア大学(University of California)の1つであり、農学、生物学に強みがある総合大学です。また、パブリックアイビーの1つでもあることから高い水準の教育が受けられると世界中から学生が集まります。特にUC Davisは多様なバックグラウンドの学生が集まると言われています。



デービスの夕焼け



州都サクラメントの議会

冬クォーター

私の留学計画は秋からの予定でしたが、コロナウイルスの影響で半年に短縮され、冬クォーターからの留学となりました。この学期には、中世の日本文学の授業(Mid-Era Japanese Literature In English)、中央銀行の金利政策に関する授業(Money and Banking)、テクノロジーの授業(Global Information Age)の3つを履修しました。

日本文学のクラスでは、日本での授業と異なり宗教に重きを置いたもので、正直日本人の私でも難しいことが多かったです。銀行政策については、コロナ禍での金融緩和で低金利となったものを引き締めていこうという段階だったため、まさに歴史を生きているんだなと強く感じました。テクノロジーの授業では、SNSへの投稿がそのプラットフォームを持

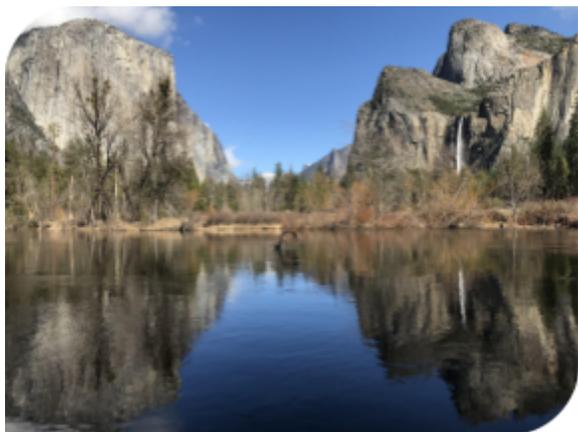


UC Davisの看板
~朝は霧が濃い日もあります~

つ会社にどのように利用されるのかや、コンピュータを利用することでの温室効果ガス排出量など、私たちの目に見えない隠れたストーリーを考える必要性を学びました。

春休み

アメリカの春休みはとても短いです。UC Davisでは1週間の休みだったため週末を含め9日間でした。前半はサンフランシスコで留学をしている友人たちと会い、サンフランシスコ市内を観光したり、ヨセミテ国立公園へ行きました。後半はメキシコやインド、韓国といった様々な国の学生とハワイへ行きました。コロナ禍ということもあり、日本からの観光客は少ないように感じましたが、看板は英語の次に日本語表記がされているなど、驚くことばかりでした。(ちなみにカリフォルニアでは基本的に英語、スペイン語、中国語の3か国語表記が多いです。)



ヨセミテ国立公園
～水面に反射して更にきれいでした～



ハワイのビーチ

春クォーター

春休みが終わるとすぐ春クォーターでした。この学期にはコーヒーの授業 (Design of Coffee)、資産形成についての授業 (Personal Finance)、栄養学の授業 (Discoveries & Concepts in Nutrition)、性に関する授業 (Human Sexuality) の4つを履修しました。コーヒーの授業においては、化学的観点から数学等を用いてコーヒーの味や抽出プロセスを分析しました。コーヒー1つをとっても奥が深く、お湯の温度や豆の挽き方、焙煎の方法が少し変わるだけでも、味も化学的な数字も大きく変化することが分かり、食品の可能性の大きさを感じました。資産形成の授業については、日本ではなかなか習うことのない税金の計算や、家は購入と賃貸のどちらが良いのか算出したり、いつまでに必要なお金があるとしたら毎月いくら積み立てれば良いのかをインフレや利息、その他金融商品からの利回りを考慮して考えました。栄養学の授業では、日本とは異なりこちらの食生活をベースとしたもので、日本とアメリカで注目されることが異なるなど、大変興味深い授業でした。性に関する授業では、文化の違いを強く感じる機会



コーヒーの授業では豆の焙煎もしました

となりました。日本と比較するととてもオープンな環境でかつ、自己開示をしていく人が比較的多いのかなと思いました。

その他日常生活

学校生活

アメリカの大学は日本の大学と異なり課題が多く、授業も厳しいので卒業が難しいと一般的には言われています。確かに、1つの授業で1週間あたり100ページほど文献を読むことはザラにあります。しかし、ありがたいことに日本でも英語で授業を受けていた僕には大変ではあるものの、苦ではありませんでした。

キャンパス

キャンパスは非常に広く、移動は基本的に自転車で行くと自転車であふれかえります。交差点は一切なく、全てラウンドアバウトなのもアメリカらしいのかなと思いました。大学自体が農学、動物学等で世界トップレベルを誇ることもあり、大学には農薬を散布するための飛行場があります。また、牛や馬、ラマやヤギなど様々な動物が飼育されていて、動物園のようであったりもします。血液ドナー用の動物がいることには大変驚きました。さらには、小川が流れていて、世界の様々な地域の植生が再現されているなど、ある種のテーマパークのような環境で学んでいます。



動物用の血液ドナーであるラマ
他にも馬と牛の血液ドナーがいました



大学には牧場もあります！

スポーツ

アメリカは日本よりもスポーツが盛んであるように感じます。デイビスの隣町であるサクラメントにはキングスというNBAのチームがあり、試合を観戦しに何度か訪れました。日本のバスケットボールとはスタジアムの規模もレベルも全く異なり、とても興奮する経験になりました。他にも、アメリカンフットボールやメジャーリーグ、ホッケーなど多くのスポーツが人気であったり、大学スポーツも沢

山の注目を集めていたりします。滞在残り1カ月で、大谷翔平選手の試合観戦にもいけたらと思います。



大学野球観戦



NBA観戦

埼玉県について

日本国内でも東京都の影に隠れ、埼玉県について詳しく知っている人はそう多くないように思います。ましてや海外となると埼玉県の場所を知らない人も沢山います。正直、埼玉県民として、この事実には悲しいものがありました。もちろん、春休みのハワイ旅行では、ホテルのプールで埼玉県の所沢に住んでいたんだよと話してくれるマイアミの人もありましたが、正直、そういった人は少数です。そこで埼玉県について2つの方法で広めました。

まず1つ目は自己紹介の場を活用することです。基本的に出身の話題になることや、埼玉親善大使として活動していることを会話のきっかけに、埼玉県について、特に地元である所沢市について話しました。埼玉県については、アニメで有名なクレヨンしんちゃんの話をしたり、地元所沢市については、ジブリのトトロの舞台であることや、お茶の産地であることを伝えました。これらの内容はどこの国の学生にも興味が湧きやすく、東京から近いこともあり、いつか日本に訪れた際には行ってみたいと話してくれました。

2つ目は、日本から持って行った狭山茶を活用し、実際に現地の学生に飲んでもらいました。アメリカでは、green teaという表示の商品でも甘くなっていることが多く、苦いお茶を飲む経験が珍しい学生も中にはいました。また、私が中学生の頃に経験した茶摘みの話をして、いつかやってみたいといった声も聴くことができ、大変充実した機会になりました。

これからも埼玉県民であることを誇りに、自分の地元の魅力を多くの人に伝えていけたらと思います。



日本から持参した狭山茶